

相談会場ではマスクを着用し他の人との間隔をあけるよう、協力をお願いします。

各種相談の市ホームページはこちら →



相談	相談日	時間	会場	問い合わせ・備考
行政相談	1日(火)	午後1時～3時	西那須野公民館	●国、県、市など行政の仕事に対する意見や要望 ☎秘書課 ☎(62)7109
	9日(水)	午後1時～4時	いきいきふれあいセンター2階	
不動産相談 (予約制)	23日(水)	午後1時30分～3時30分	県不動産会館県北支部 (黒磯文化会館前)	※相談日当日までに要予約。 県宅建協会県北支部 ☎(62)6677

マザーズコーナー 出張職業相談	10日(木)	午前9時～正午	いきいきふれあいセンター 2階 子育て相談センター	●子育て中の人の出張就職相談 ハローワーク大田原 ☎0287(22)2268
	22日(火)	午後1時～3時	つどいの広場「ま〜る」 (南郷屋)	

※弁護士による法律相談は4月の日程。

弁護士による 法律相談(予約制) ※年度内1人2回 まで可。	4月9日(土)	午後1時30分～4時30分	東那須野公民館	※4月4日(月)から受け付け開始。定員18人。 ☎社会福祉課 ☎(62)7135
	4月12日(火)	午後1時30分～4時30分	健康長寿センター	※4月4日(月)から受け付け開始。定員18人。 ☎市民福祉課 ☎(37)6231
広域無料法律相談 (予約制)	3月10日(木)	午後1時30分～4時40分	トコトコ大田原 市民交流センター (大田原市中央1丁目)	※3月3日(水)から受け付け開始。定員18人。 大田原市総務課 ☎0287(23)1111

人権相談	1日(火)	午後1時～3時	西那須野公民館	●人権相談、人権保護などの相談 ☎社会福祉課 ☎(62)7135 ☎市民福祉課 ☎(37)6231 ☎総務福祉課 ☎(32)2912
------	-------	---------	---------	---

育児相談 (予約制)	3日(木)	午前9時30分～11時	黒磯保健センター	●保健師や栄養士などによる育児に関する相談 西那須野保健センター ☎(38)1356
	14日(月)	午後1時30分～3時	西那須野保健センター	

健康相談 食生活相談 (予約制)	7日(月)	午前9時30分～11時	黒磯保健センター	●保健師や栄養士による健診の結果相談や、 その他心身の健康相談 黒磯保健センター ☎(63)1100
		午後1時30分～3時	西那須野保健センター	

こころの相談 (予約制)	8日(火)	午前10時～正午	黒磯保健センター	●日本カウンセリング学会カウンセリング心理士による相談 ☎社会福祉課 ☎(62)7026
	22日(火)	午後1時～5時	西那須野保健センター	
ポラリス☆とちぎ 出張相談会 (予約制)	7日(月)	午後1時30分～4時30分	西那須野公民館	●ひきこもりで悩んでいる本人、家族のための相談 ☎社会福祉課 ☎(62)7026

## 編集後記

まちでゆーバスやゆータクを見かけるたび、つい目で追ってしまふ癖が付いたり、○年前のバス通学の思い出が蘇ってきたりした特集執筆期間でした。車内で参考書を片手に睡魔と戦った朝、おしゃべりに花が咲きすぎて慌てて停留所まで走った放課後。当たり前だと思っていたあの日常が多くの人に支えられていたことを、取材を通して改めて実感しました。今後は地域バスを目で追うだけの段階から「待って、乗ります！」と追いかける段階に進みたいです(※時刻表をよく見て、余裕を持って停留所に行きましょう)。(高久)

2月3日の節分。皆さんは何を行いましたか？ わが家では恵方巻を食べました。ふと思うと、私が小さかった頃は、恵方巻の文化自体がなかった気がしました。調べてみると、諸説ありますがもともとは関西の文化で、20年ほど前から商業的に全国展開が始まったようです。新たな文化を人々に定着させ、行動してもらうまでに根付かせる努力は、並大抵のものではなかっただろうと推測されます。私も広報担当になって早いものでもうすぐ1年。広報誌が皆さんの生活に定着するよう、改めて努力していきます。(鈴木)



問い合わせ 本商工観光課 ☎0287(62)7130



田代 勇輔さん 製造部 製造課 入社19年目

Tashiro Yusuke

1 コメ粒と比べてもはるかに小さい極小製品。素材を削り出して極小の製品を作る技術力が強み 2 合成樹脂製ベアリング。金属製のベアリングではサビが出てしまうような環境下で使われている 3 (株)伸光製作所那須工場の内観。明るく清潔で、有線放送が流れているちょっと変わった工場。廊下や食堂はパステルカラーで染められていて、そこだけ見れば工場とは思えないほど



## 失敗を恐れず、ミクロへの挑戦

失敗を恐れずにチャレンジ  
クライアントからの要望を製品に反映させるため、チームで取り組み、失

私は今、製造課で課長を任されています。現場の担当業務を持ったままプレイングマネージャーとして働いているので、仕事が増えて時間のやりくりは大変になりました。しかし、若い人々と現場で一緒に働けるので、コミュニケーションは取りやすい環境にあると感じています。

地元で働けるのは素晴らしいこと  
入社のきっかけは、友人と行った地元の飲食店で、弟の部活動の集まりで偶然利用していた母と当時の弊社課長に遭遇し、課長に「うちで働かないか」と声を掛けていただいたことです。当時は地元での就職にはこだわっていませんでしたが、今考えてみると、生まれ育った地元で働けるのは素晴らしいことだなと感じています。

人が生活する上で欠かすことのできないプラスチック製品。その中でも電気通信機器などの内側で、電気を通さない(絶縁)部品として、目に見えないほど極小な部品を作っているのが、株式会社伸光製作所です。他社にはまねのできない精密切削加工技術で、新製品の開発に日々取り組んでいます。



株式会社伸光製作所  
(東原28番地5)  
【業種】製造業  
【業務の内容】プラスチック製品切削加工、各種コネクタ、電気通信機器の絶縁部品製造  
【問い合わせ】☎0287(60)5010

弊社が世界を相手に仕事ができる技術力を持っています。その力をもってアピールできる自社製品を開発するのが私の目標です。

生産性向上に役立てる誇り  
弊社はクライアントからの依頼で製品を作っているため、どの商品のどこに使われている部品が弊社の商品とアピールすることができません。しかし、目に見えないほどの極小部品は、素材を削り出す切削加工でしか実現できませんし、合成樹脂(プラスチック)の切削加工は世界的に見ても少ない業界です。

敗を重ねながら製品化できたときに仕事へのやりがいを感じます。仕事での失敗は星の数ほどしてきましたし、一緒に働く仲間や先輩にもたくさん迷惑をかけてきました。今後も迷惑をかけることがあるかもしれませんが、失敗を恐れずに何事にもチャレンジしていきたいと思っています。